

平成24年度

事業計画書

自 平成24年4月 1日

至 平成25年3月31日

公益財団法人 ノーマライゼーション住宅財団

平成24年度 事業計画

〈基本方針〉

昨今の経済環境等の変化により、当財団の基本財産運用収入は減少傾向を余儀無くされております。この様な状況の中、当財団はこの度の公益法人制度改革に伴いまして、平成24年度(4月1日)から公益財団法人へ移行できる運びとなりました。このことから、今年度は管理面、制度面における整備の必要性もあり、それらに関する費用の支出が想定されますが、いまだ経済情勢が混沌としていることなどから、今年度の収支予算は緊縮を余儀無くされるものと思います。これらの現状を踏まえ平成24年度は、公益に資する法人として気持ちを新たにして、当財団設立の原点に基づき、高齢者や障がい者が安全で安心して快適に暮らせる住生活の整備・向上の支援を通して、全ての人が生きがいをもって生活できる社会づくりと社会福祉の増進に寄与する事業に取り組んで参ります。

〈事業計画〉

I、福祉住宅の建築に関する助成及び情報提供事業

(1) 助成金による福祉住宅建築支援

当財団設立以来、24年目を迎える事業として今年も継続していきます。

高齢者や障がい者が、安全で安心して快適に暮らせる住宅、また将来身体機能が低下しても安心して生活できる住宅の普及を目指します。

福祉住宅として新築したりリフォームした建築主、およびグループホームや高齢者向けアパートなどの福祉小規模集合住宅の建築主から応募を受け、審査のうえ今後の参考に資する施工物件に対して助成金を給付します。

(2) 福祉住宅建築助成事例集「ふれあい」発行

助成建築主へ直接取材を行い、今後の福祉、介護面等の参考となる事例や建築アイデアなどを、当財団情報誌により広く提供していきます。

専門家のアドバイスや、工夫した点、実際に暮らしてみても感想なども綴られています。

小誌は、地方自治体および社会福祉協議会など関係諸機関に配布し、地域の皆様に役立てていただきます。

Ⅱ、ノーマライゼーション理念の普及啓発事業

(1) 広報誌「^ウ^ィ^ズ ^ラ^イ^フ WITH LIFE (共に生きる)」発行

福祉に関する情報を掲載し、ノーマライゼーションの理念と実践を紹介する当財団の広報誌です。

ノーマライゼーションを実践されている方々の対談やインタビューをはじめ、福祉事情の紹介や福祉住宅の設備、福祉機器、快適で便利なシステムなど、役立つ情報をわかりやすく紹介していきます。

「ふれあい」同様、地方自治体および社会福祉協議会など関係諸機関に配布し、社会福祉の増進に役立てていただきます。

(2) 小・中学生によるアイデア・コンテスト

小・中学生による「おとしよりが楽しく暮らすためのアイデア・コンテスト」です。

今年 17 回目を迎えるコンテストのモットーは、「ノーマライゼーションの心を早くから」です。

おとしよりや障がいを持つ人が、明るく楽しく生活できるアイデアや、安全に外出を楽しめる環境づくり等についての提案をしてもらいます。

(3) 福祉事情に関する情報収集及び提供

福祉全般に関する情報収集を目的として、有識者や福祉関係者などに呼び掛け、福祉住宅や福祉事情などを視察し、「^ウ^ィ^ズ ^ラ^イ^フ WITH LIFE」等でレポートを発表していきます。

Ⅲ、その他事業

公益法人としての責務を自覚し、この法人の目的を達成するための事業に取り組んでいきます。